

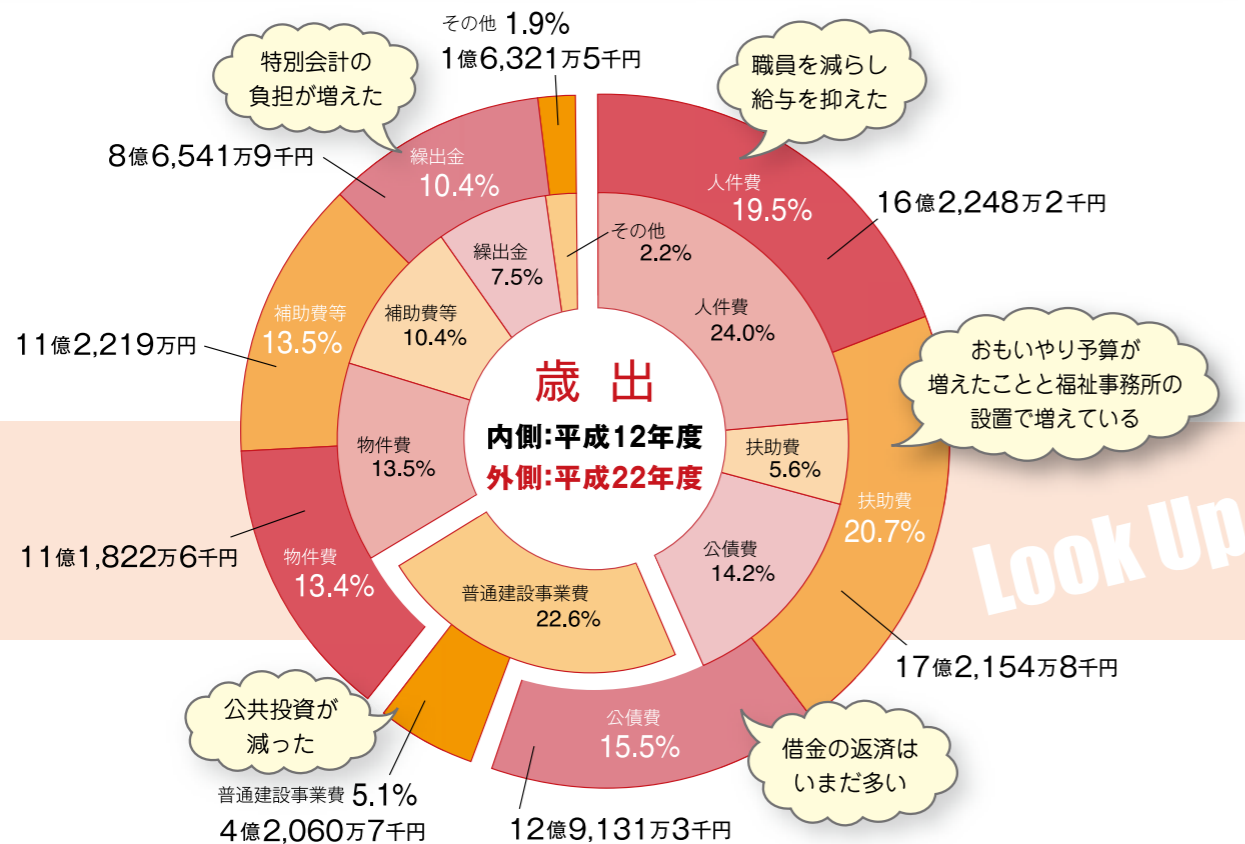
予算 10年前と今

3月定例議会を3月3日から24日まで開きました。条例の制定や改正、平成22年度予算などを慎重に審議した結果、全会一致あるいは賛成多数で可決しました。予算審査特別委員会の審議内容については、4ページからの特集でくわしくお伝えします。

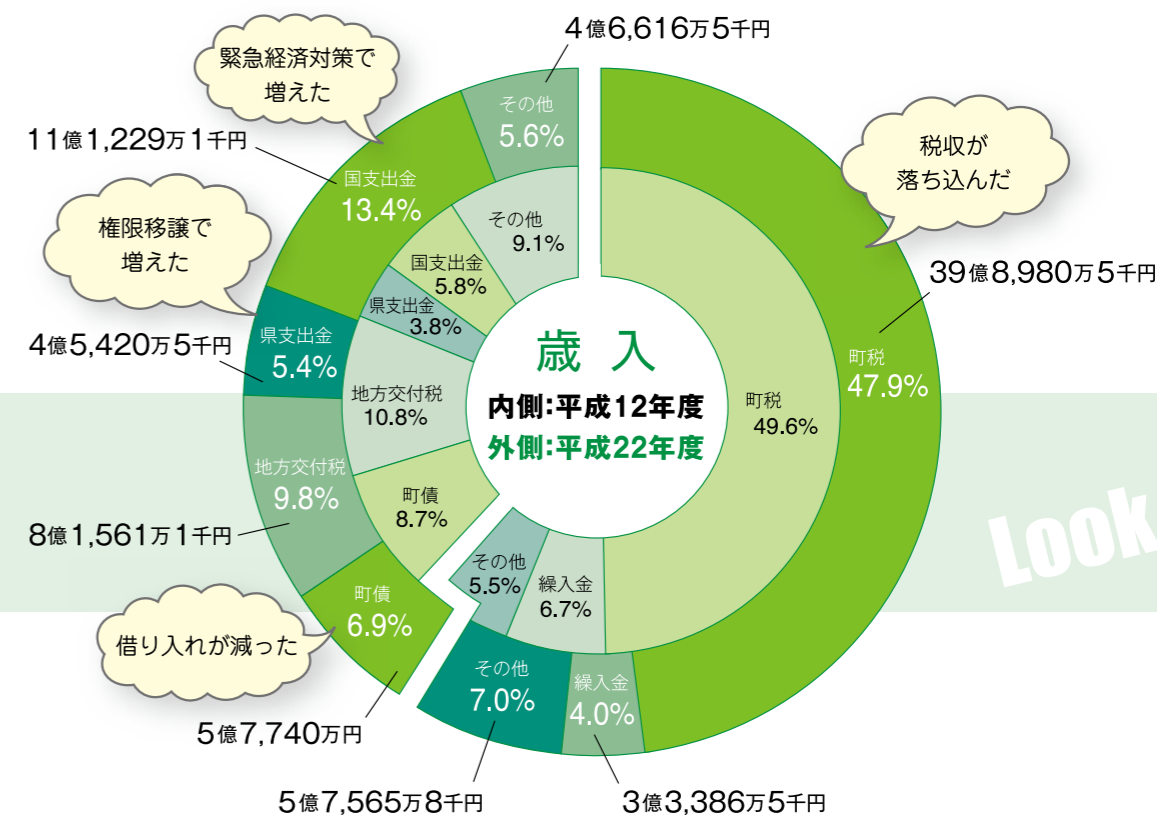
(持続可能なまちづくりを目指せ)

平成22年度一般会計予算の構成

総額83億2,500万円 【10年前(85億3,700万円)と比較】



扶助費 子ども手当や生活保護費など、福祉のために使われるお金
公債費 借金の返済に必要なお金
繰出金 特別会計の収支不足補てんなどのために、一般会計から特別会計に出されるお金



町債 町が事業を行うために借入るお金
国支出金 町のサービスに必要なお金の一部または全部について、国や県から受けとるお金

【主な新規事業と重点施策】

子育て応援まつり事業 299万円	畝保育所再整備事業 277万円	子ども手当等支給事業 5億5,034万円	産科医等確保支援事業 550万円	下水道特別会計への繰出金 1億9,413万円	国民健康保険特別会計への繰出金 1億6,572万円
親と子が触れ合う機会をつくるため、親子で気軽に参加できる「子育て応援まつり」を実施します。(5ページ)	老朽化に伴い、現地での建替えと移転の両方について、事業費も比較しながら検討して整備方針をまとめます。(6ページ)	中学校修了までの子どもを対象に「子ども手当」を支給します。	過酷な勤務環境にある産科医師に直接届く支援として、医療機関が当該医師に支給する手当ての一部を助成します。(6ページ)	景気低迷による下水道使用料収入の低下などにより収支不足を生じるので、一般会計からの繰出金で補てんします。(4ページ)	景気低迷による保険税収納率の低下や医療費の増加などにより収支不足を生じるので、一般会計からの繰出金で補てんします。(4ページ)

【会計別予算額と借入金残高見込額】

区分	平成22年度当初予算額	平成12年度当初予算額	当初予算比較	平成21年度末借入金残高見込額	平成12年度末借入金残高
一般会計	83億2,500万円	85億3,700万円	△2億1,200万円	103億4,045万円	96億1,890万円
特別会計					
公共下水道事業	14億8,603万円	18億7,483万円	△3億8,880万円	98億318万円	77億5,977万円
国民健康保険	29億8,894万円	16億3,958万円	13億4,936万円	—	—
老人保健	55万円	18億8,251万円	※△18億8,196万円	—	—
介護保険	14億2,444万円	7億5,089万円	6億7,355万円	—	—
後期高齢者医療	2億6,418万円	—	※2億6,418万円	—	—
計	144億8,914万円	146億8,481万円	△1億9,567万円	201億4,363万円	173億7,867万円
水道事業会計	5億9,135万円	7億8,636万円	△1億9,501万円	9億7,290万円	10億9,033万円
合計	150億8,049万円	154億7,117万円	△3億9,068万円	211億1,653万円	184億6,900万円

※老人保健と後期高齢者医療の特別会計の増減は、制度が変わったことに伴うものです。